

2005年度の紙パック回収率

堅調に伸び続ける紙パックの回収率。2005年度は36.2%となりました。

紙パックリサイクルに関する情報の収集と社会への提供のために、1995年から実施している「飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査」が、2006年も5月～11月に実施され、2005年度のリサイクルの状況が明らかになりました。

紙パック全体の回収率(産業損紙・古紙を含む)は36.2%と、前年度比+0.7ポイント増。また使用済み紙パック回収率(家庭系+学乳などの事業系)が25.8%(前年度比+0.9ポイント)と、回収率は堅調に伸びており、リサイクル活動が着実に拡大している結果となりました。

※2005年度の調査では、紙容器メーカー9社・飲料メーカー323社・小学校2,278校・1,928市町村・スーパーマーケット211社・製紙メーカー51社を調査対象としました。
※紙パックの製造工程と飲料充填工程で発生した不良原紙、端材、在庫処分品などの使用されない紙パックを損紙、または産業損紙と呼んでいます。
※店舗、事業所、学校、家庭などで発生した紙パックを古紙と呼んでいます。

2005年度の紙パック回収率

紙パック回収率
(産業損紙・古紙含む)

36.2%

(2004年度 35.5%)

=製紙メーカー国内受入量÷紙パック原紙国内使用量
=91.3千トン÷252.4千トン

使用済み紙パック回収率
(使用された紙パック)

25.8%

(2004年度 24.9%)

=使用済み紙パック回収量÷紙パック出荷量
=55.7千トン÷215.9千トン

紙パック古紙は、一貫して有価物として扱われています。

紙パック古紙は、紙の繊維が長くて太いことなどから良質な再生紙原料といえます。このため、他の古紙よりも比較的高値で取引されています。

市町村回収、集団回収における紙パック古紙の取引価格は、取引先・引渡し方法別により若干の違いはありますが、平均価格は昨年度と変わりなく、また、個々の取引を見ても、全体の99%が有価もしくは無償で取引されています。

紙パック古紙の取引価格は、大きな変動がなく推移しています。

紙パック古紙の取引価格

		引渡し	持ち込み
市町村回収	古紙回収業者	5.7	5.8
	古紙直納問屋	6.1	5.8
	製紙メーカー	6.0	7.9
集団回収		3.9	4.4

(円/kg)

使用済み紙パックの回収量が着実に増加しています。

右の図のように調査開始以来、紙パックの回収率は着実に伸びています。これを回収量で表したのが下の表です。2005年度の回収量は全体で91.3千トンと、前年に比べて3.8千トン(+4.3%)の増加。そのうち使用済み紙パックの増加は、2.5千トンでした。

紙パックの回収率の推移



主要データの推移 (千トン)

区分	1994年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	前年度比
飲料用紙パック原紙使用量 (A)	216.0	229.1	232.9	242.3	246.3	252.4	+2.5%
紙パックメーカー産業損紙発生量	16.5	22.4	26.4	30.7	32.2	33.9	+5.2%
飲料メーカー産業損紙発生量	-	2.7	4.1	4.4	3.0	2.4	-19.2%
飲料メーカーからの飲料用紙パック出荷量 (B)	197.9	203.2	198.2	204.6	213.2	215.9	+1.3%
家庭系 (C)	168.7	182.7	171.8	181.1	188.4	191.5	+1.7%
自販機等 (事業系)	18.5	11.0	16.5	13.6	15.2	12.8	-15.3%
学乳 (事業系)	10.7	9.5	9.9	9.9	9.6	11.5	+19.7%
使用済み紙パック回収量 (D)	26.5	45.3	44.0	49.3	53.2	55.7	+4.7%
店頭回収量	13.8	18.5	18.8	23.7	25.0	25.4	+1.7%
市町村回収量	4.3	12.0	12.0	11.9	12.3	12.6	+1.9%
集団回収量	7.8	10.0	9.1	8.7	9.0	9.6	+6.2%
学乳紙パック回収量 (E)	0.6	4.8	4.1	5.0	6.3	7.4	+18.2%
事務系紙パック回収量 (F)	-	-	-	-	0.6	0.7	+20.7%
産業損紙・古紙 紙パック回収量 (G)	16.5	23.8	28.5	33.7	34.3	35.6	+3.8%
紙パックメーカー回収量	16.5	22.2	26.4	30.3	32.2	33.9	+5.2%
飲料メーカー回収量	-	1.6	2.1	3.5	2.1	1.7	-18.7%
製紙メーカー国内紙パック受入量 (H)	43.0	69.1	72.5	83.1	87.5	91.3	+4.3%
紙パック古紙輸入量 (I)	-	9.6	7.2	15.7	2.7	3.4	+25.7%
製紙メーカー紙パック受入量 (J)	43.0	78.7	79.7	98.7	90.2	94.6	+4.9%
紙パック再資源化量 (K)	30.1	60.6	61.7	73.0	67.5	70.7	+4.7%
産業損紙を含む紙パック回収率 (H) / (A)	19.9%	30.2%	31.1%	34.3%	35.5%	36.2%	+0.6P
使用済み紙パック回収率 (D) / (B)	13.4%	22.3%	22.2%	24.1%	24.9%	25.8%	+0.8P
家庭系使用済み紙パック回収率 ((D)-(E)-(F)) / (C)	15.4%	22.2%	23.2%	24.5%	24.6%	24.8%	+0.2P

※(H)=(D)+(G)、(J)=(H)+(I)、(K)=(J)×(歩留率) 1994年度の歩留率は70%、2001年度以降はアンケート調査により求めています。
※2004年度より事業系紙パック回収量をアンケート調査に基づいて求めています。※数値を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。



2005年度 紙パックマテリアルフロー

2005年度の飲料用紙パックリサイクルの全体像をマテリアルフローで示したものです。

※単位：千トン
 ※()内は2004年度との差です。
 ※四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

